

4常任委員会連合審査会

平成28年8月30日（火）

午前10時08分～午後0時10分

議会大会議室

- 【出席委員】（総務委員会）山田誠一郎委員長、実松尊信副委員長、野中康弘委員、宮崎 健委員、久米勝博委員、池田正弘委員、重田音彦委員、武藤恭博委員
- （文教福祉委員会）重松 徹委員長、松永憲明副委員長、永渕史孝委員、村岡 卓委員、高柳茂樹委員、山口弘展委員、白倉和子委員、江頭弘美委員、福井章司委員
- （経済産業委員会）西岡義広委員長、川副龍之介副委員長、江原新子委員、川崎直幸委員、中野茂康委員、山下明子委員、堤 正之委員、平原嘉徳委員、松尾和男委員
- （建設環境委員会）野中宣明委員長、松永幹哉副委員長、山下伸二委員、中山重俊委員、川原田裕明委員、千綿正明委員、黒田利人委員

【欠席委員】嘉村弘和委員

【委員外議員】なし

【執行部出席者】関係職員

【案 件】

- ・付託議案について（決算議案審査：一般会計歳入全款）

○山田総務委員長

おはようございます。

皆様おそろいのようにございますので、ただいまから第64号議案 平成27年度佐賀市一般会計歳入歳出決算のうち歳入全款について、4常任委員会による連合審査会を開催いたします。

それでは、決算審査に入ります前に、秀島市長がお見えでございますので、御挨拶をお願いいたします。

○秀島市長

おはようございます。

きょうから平成27年度の一般会計、それから、特別会計、企業会計の決算の認定につきまして御審議をお願いすることになりましたので、最初に私のほうから御挨拶をさせていただきます。

平成27年度の主な決算状況を見てみますと、まず、一般会計につきましては、穏やかな景気回復により、個人市民税は増加したものの、法人市民税が一部国税化されたことに伴

う市民税収入全体としての減少、それから、本庁舎増築事業、小・中学校校舎の大規模改造事業、バルーンミュージアム整備事業、さらには、清掃工場における二酸化炭素分離回収設備整備といった大型事業の進捗や子ども・子育て支援新制度への移行などによる扶助費の増加などによりまして、歳入総額は約945億円、歳出総額は約918億円となっております。これから翌年度へ繰り越すべき財源として約12億円を除いた実質収支は、約15億円の黒字となっております。

次に、特別会計のうち、国民健康保険特別会計につきましては、歳入総額約311億円、歳出総額は約331億円となり、収支不足額の約20億円につきましては、平成28年度の歳入を繰り上げて、これに充てております。

次に、企業会計でございますが、自動車運送事業会計につきましては、平成26年6月に策定した佐賀市営バス事業経営計画に基づき、利便性の向上と経営の安定化に努めてまいりました。

収支状況につきましては、佐賀空港線の国際線が好調に推移したことなどによりまして、事業収益は約10億7,000万円、事業費は約10億4,000万円となり、純利益としては2,000万円を計上しております。

最後に、地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく健全化判断比率及び資金不足比率につきましては、全ての指標において健全化基準以下となっております。これから平成27年度の決算を御審議いただきますが、審議の際にいただく御意見につきましては、今後の市政運営に反映してまいりたいと考えております。

以上、よろしく御審議をお願い申し上げます。

○山田総務委員長

ありがとうございました。

続いて、平成27年度佐賀市決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率について報告をお願いいたします。

◎平成27年度佐賀市決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率 説明

それでは、健全化判断比率及び資金不足比率について御説明をいたします。

○山田総務委員長

ただいま報告を受けましたが、この件についてはよろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

それでは、秀島市長は公務の予定があるということですので、ここで退席いただいて結構でございます。お疲れさまでございます。

◎市長退室

○山田総務委員長

次に、本日の審査日程について、お手元の次第にお示ししている審査日程案で進めたいと思いますが、御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

御異議ないようですので、この審査日程案どおり審査したいと思います。

それでは、審査に入ります前に、注意していただきたい点を幾つか申し上げたいと思います。

発言される場合は必ず挙手をして、指名されてからマイクを御使用の上、発言をしてください。

執行部におかれましては、委員会は限られた時間で集中的な審議が必要ですので、簡潔な説明を心がけていただきたいと思います。なお、決算額の数字の読み上げは必要ございません。また、答弁は役職にかかわらず、質問に対して回答できる方が回答するようにお願いいたします。

次に、委員の皆様には申し上げたいと思いますけれども、質疑につきましては、決算の歳入ですので、その範囲内をお願いいたします。特に、市政一般や予算に関する質問にならないようお願いいたします。それから、多岐にわたる質疑をお持ちだと思いますけれども、一度にたくさんの質疑をされますと、答弁がわかりにくくなりますので、質疑の該当資料のページ及び項目等を示した上で、1回につき1問に絞って質疑をしていただきたいと思います。

なお、決算の概要につきましては、お手元に平成27年度佐賀市歳入歳出決算概要を配付しておりますので、御確認をお願いいたします。

それでは、審査に入りたいと思います。

まず、歳入第1款から第11款までについて、執行部の説明を求めます。

◎第64号議案 平成27年度佐賀市一般会計歳入歳出決算中、歳入第1款～第11款 説明

○山田総務委員長

執行部から説明がありましたが、委員の皆様のお質疑をお受けしたいと思います。質疑のある方は挙手をお願いいたします。

○山下明子経済産業委員

市税収入のところ、21番の資料の17ページ、18ページに関連してなんですが、収入未済額が示されていますけれども、この滞納処分の内訳を示していただきたいと思います。

○山口納税課長

市税全体で3億4,000万円の収入未済ということですが、処理の状況としましては、現在、差し押さえが約9,300万円、件数が申しわけございませんが、そこまでちょっと把握しておりません。金額としまして9,300万円の26.8%、裁判所等の競売事件にかかった部分で交付要求をしている分が約6,500万円、18.7%、あと、分納とか、分納誓約とか、そういうところに納税協議を行っているものが1億6,300万円、46.9%、その他が7.6%という状況でございます。

○山田総務委員長

ほかにございせんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

ないようでございますので、次に、歳入第12款から第15款までについて、執行部の説明を求めます。

◎第64号議案 平成27年度佐賀市一般会計歳入歳出決算中、歳入第12款～第15款 説明

○山田総務委員長

ただいま説明がありました。委員の皆様の質疑をお受けいたします。質疑のある方は挙手をお願いします。

○山下明子経済産業委員

まず、資料21の14、15ページの収納状況一覧の中で使用料及び手数料のところ、額が小さいから特に説明がなかった部分との関係ですが、商工使用料の中の温泉給湯使用料が、この収納率が前の年度から比べると、97%台が92%台に落ちているんですけども、その理由を聞かせていただきたいというのが1つです。

というのは、入湯税のときは、宿泊客が増加したとかいう話で盛り上がっている感じの説明でしたが、温泉給湯使用料が92%というのは、何か理由があったのでしょうか。

○古賀観光振興課長

まず、給湯使用料についてですが、古湯で13カ所、それから、熊の川で10カ所に給湯しておりますが、平成27年度につきましては、1カ所の旅館で平成27年度中に納入が間に合わなくて、平成28年度になってから納入された部分がありました。その部分で、若干の収納率の減がっております。

また、これは収納率とはちょっと違いますけれども、年度途中で旅館が廃業されたところもありまして、そういうことで全体の額も、平成27年度は平成26年度に比べて若干下がったというところがございます。以上でございます。

○山下明子経済産業委員

後から入ったのが1館と、それから、旅館が廃業になったのが1館ということですかね。

○古賀観光振興課長

はい、そのとおりです。

○山下明子経済産業委員

決算書18番の29ページ、下から4つ目、児童福祉費国庫補助金の職員の資質向上・人材確保等研修事業補助金が11万2,000円ですよね。これは国庫補助金ということですが、最初に国、県、市で3分の1ずつが原則だと言われていましたが、今聞いていると、県のところにはなかったようなんですが、これは国庫補助金だけなのかということと、11万2,000円は、要するに使い道というか、どういう使われ方をしたかということについて御説明いただきたいと思います。保育士の人材確保が今、大きな課題になっている中で、この額とこの使われ方というのは何だったのかなということでの質問です。

○武富財政課長

私のほうで、補助率に関して御説明させていただきます。

先ほどの補助金ですけれども、これは平成26年度までは県補助金ということになっておりました。2分の1ですね。今回は、国2分の1、市2分の1ということでの事業実施ということになっております。

○一番ヶ瀬保育幼稚園課長

保育業務に従事する保育士向けの研修会で、主な使い道は会場使用料と講師の謝礼でございます。

○山下明子経済産業委員

支出のほうと関係するから支出で聞かないといけないかもしれませんが、要するに、11万2,000円の倍が全額だとすると、保育の施設の数だとかいろんなことから見ると、物すごく少ない感じがするんですが、こういうのは何回開かれて、どのようになっていたかというところまでお願いします。成果を説明する資料にも載っていないから聞いているんです。

○山田総務委員長

説明できる方いらっしゃいますか。

これは、ちょっと時間がかかるようですので、質疑を次に移りたいと思います。その間、調べておいてください。

ほかにございませんか。

○白倉文教福祉委員

資料番号18番の33ページ、地域住民生活等緊急支援交付金が国から来ているんですが、これはプレミアム商品券のことに關してということですが、また今後もあり得ることですので、国の交付金額というのは、例えば、市町村自治体によって、基準は10%の上乗せと、1割の上乗せとしても、もっと大きくしたり、小さくしたりとか、いろんな裁量をしましたよね。それと、もちろん事務費等々もかかっていますよね。3億六千何がしかの金額の内訳と、国と自治体との関係を教えてほしいんですが。制度として、国がどっちかといったら推奨してきた部分ですので、どういった部分でこの金額になっているんでしょうか。

○坂井商業振興課長

国のほうから、今回、3億6,200万円、この金額をこの目的として交付されまして、佐賀市として全額をプレミアム付き商品券事業に充当するというので、今回の交付金の使途としております。

それと、先ほどプレミアム率の1割とか2割という地方公共団体間の差をおっしゃられたと思いますけれども、佐賀市の場合、この2割を決めるに当たりまして、ほかの団体をいろいろ調べたところ、2割が一番多かったので、2割ということによって決定させていただいたところでございます。

○白倉文教福祉委員

佐賀市は2割上乘せだったんですね。そしたら、この3億6,263万8,000円というのは、これは人口比率かなんかで算定して交付されるものですか。それで、これをどう使うかというのは、それぞれの自治体ということですか。上乘せも含めて。

○坂井商業振興課長

国のほうから、先ほど申しましたように、この交付金については、佐賀市が3億6,200万円というふうな配分ということで聞いております。

○白倉文教福祉委員

だから、これは人口比率か何かで割り出された金額がここに入っているんですかということですか。

○武富財政課長

今の御質問の分、ちょっと調べて、後もって御回答させていただきたいと思います。

○山田総務委員長

早急にお願いしますね。

ほかにございませんか。

先ほどの山下議員の質問の回答ですね。

○一番ヶ瀬保育幼稚園課長

さっきの山下明子議員の11万2,000円の分ですけど、ここにつきましては、事業費的にはこれの倍でございまして、国2分の1、市2分の1でございまして。

それから、研修会につきましては、昨年度3回開催しているところでございまして、2回がメートプラザ、1階が県立美術館ホールでございまして。

○山田総務委員長

ほかにございませんか。

さっきの白倉委員への回答はまだですね。じゃ、後でやります。

それでは次に、第16款から第21款までについて執行部の説明を求めます。

◎第64号議案 平成27年度佐賀市一般会計歳入歳出決算中、歳入第16款～第21款 説明

○山田総務委員長

ただいま、21款までの説明が終わりました。

先ほどの白倉委員の質問に対する答弁は準備できましたでしょうか。

○武富財政課長

先ほどの18番の資料に戻っていただきまして、33ページで御質問をいただいております。33ページ目の上から2つ目、地域住民生活等緊急支援対策交付金、これの配分方法ということだと思います。

これは、全国的な総額で2,500億円が用意されております。全国2,500億円の中で、人口、財政力指数、小売年間販売額、こういったものを係数として掛けまして、ここに決算額で

上がっているものが配分金ということでいただいたものでございます。以上です。

○山田総務委員長

よろしいでしょうか。

それでは、歳入の第16款からの第21款までの御質疑をお受けいたします。

○山下明子経済産業委員

また資料21の14ページの一覧表ですが、15ページの財産収入の土地建物貸付料ですが、ここも平成25年度は99%台ですけれども、平成26年度、平成27年度が、93%、94%と収納率がちょっと低いようですけれども、これは先ほどの御説明の、民間のいろんなところに貸しておられるものの中でどんな状態になっているのかということが1点です。

○鶴財産活用課長

内訳について調べさせていただきますので、ちょっとお待ちください。

○山田総務委員長

調べる間、次の質問をお受けいたします。

○山下明子経済産業委員

次の質問で、資料18番、決算書の67ページの生活保護費返還金のことですが、6,900万円ということで、結構大きい印象を受けたんですけれども、内容がどんな状態なのかとか、件数など、少し内訳を御説明いただきたいと思います。

○土井生活福祉課長

第63条の返還金につきましては、遡及して受給した年金でありますとか、交通事故の示談金や保険金、入院金、第78条の徴収金につきましては、未申告の給与収入等や、未申告の各種年金の申告等でございます。

また、件数としましては、第63条返還金が184件、第78条徴収金が86件ということでございます。以上でございます。

○山下明子経済産業委員

年金とか、交通事故の示談金などは後から入ったからということになりますが、給与に関して言うと、それは御本人に対して、こういうことだったらば申告してくださいねということが伝わりにくい状態になっているのか、故意に黙っていたとか、そういうことになっているのか、あるいは、高校生のアルバイトだとか、そういうのが入っているのか、そこら辺はどうなんでしょうか。

○土井生活福祉課長

生活保護を受給するに当たりまして、最初に、そのような収入があった場合は必ず申告しなさいということでお知らせしております。

それで、実際そのことを知っていたかどうかということで、第63条返還金になるのか、第78条徴収金になるのかというような形で変わります。被保護者の方にいろいろと聞き取りをしますと、中にはやはり、もうそのことを忘れていたという方もいらっしゃいますし、

そのことを知っていたけど、わからないだろうというようなことで、そのままにされていた方もいらっしゃると思います。以上です。

○山田総務委員長

よろしいですか。

先ほどの御答弁できますか。

○鶴財産活用課長

先ほどの土地建物貸付料の徴収率の件でございますけれども、これは天山スキー場、こちらで駐車場等の余った敷地で太陽光発電を計画されまして、事業の内容が変わったので貸付料等が増加したんですけれども、結果的に電力会社から買い取り等の交渉がうまくいかずに、結局、事業自体を断念されまして、その期間の貸付料が高くなった分が、結果的に事業ができなかったので未納になっている分でございます。これは貸付先と協議をいたしまして、分割納入していただくということで協議ができております。以上でございます。

○山下明子経済産業委員

見込みが違ってしまったということだと思うんですが、今の説明というのは。計画していたけれども、結局それができなくなったということですが、それでも未納という扱いになるわけですかね。高くなったという計算でされて、未納ということになるのかどうか。

○鶴財産活用課長

事業計画を出されまして、こういう事業に使いたいということになりましたので、事業用の貸し付けということで調定が高くなってしまいましたので、この分については結果的には断念されていますけど、その間についてはその事業のための貸し付けということになりますので、控除されたりとか……。一旦、事業用で調定させていただいた分について後から下げるということは難しゅうございますので、その分については協議をいたしましたところ、しばらく待つてほしいということで、必ずお支払いするというで協議をいたしております。以上です。

○江頭文教福祉委員

資料18の67ページ、説明はなかったんですけど、休日夜間こども診療所収入金の前年比と、これまでの積立金総額が今幾らになっているのか、これまであわせて。

○大城健康づくり課長

今現在の積立金は、約1億6,000万円になっております。

○江頭文教福祉委員

約じゃなくて、きちっとした数字はわかりますか。

○大城健康づくり課長

済みません、ちょっと調べて報告します。

○山田総務委員長

もう時間も迫っていますので、早急にお願いいたします。

○大城健康づくり課長

平成27年度末で、1億6,678万3,000円です。

○江頭委員

前年度比は。

○大城健康づくり課長

資料番号18番です。366ページ、一番上の欄になります。休日夜間こども診療所基金です。前年度末の現在高が1億7,000万円、それから、決算現在高が今言いました1億6,600万円となっております。

○山田総務委員長

ほかにございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

ないようでございますので、以上で、第64号議案のうち、歳入全款に関する審査を終了いたします。

執行部の皆様は御退室いただいて結構でございます。お疲れさまでした。

◎執行部退室

○山田総務委員長

それでは、本日の審査に伴う主な質疑、意見等は、必要に応じて総務委員会の審査報告の中で補足して口頭報告を行うこととなります。

口頭報告に関して、御意見等がありましたらお願いいたします。

(「なし」と呼ぶ者あり)

それでは、意見もないようでございますけれども、あとは総務委員会の正副委員長で調整させていただきますので、よろしく願いいたします。

以上で4常任委員会の連合審査を閉会いたします。お疲れさまでした。